

墨田区おもてなしの心を持った子供
を育てる人材育成事業

墨田区園長研修会

平成26年10月21日(火)
墨田区役所会議室

公益社団法人マナーキッズプロジェクト

1グループ

課題

その場に応じた挨拶が
できない。

目標

自発的に心のこもった
挨拶ができる子に育てる。

期間

在園中は必要だが、強
化月間を決めて、効果を
アップさせる取り組みもある。

対策

- ・年長児や職員が親子の登園時に門に立ち挨拶をする。
- ・園だよりに「挨拶月間」を掲載する。
- ・保護者を対象に、挨拶の重要性を知らせるための講演会を開く。
- ・挨拶をする時は、相手の名前を呼ぶ。
- ・年長児が各クラスに、朝の挨拶に回る。
- ・玄関前や、事務所の入り口、廊下など目のつくところに、挨拶の見本を貼っておく。(失礼します、失礼しました、おはよう、さようなら、ありがとうなど)
- ・園内に挨拶に関する標語を貼り、知らせている。

2グループ

課題	<p style="text-align: center;">職員</p> <p>相手の思いを汲んで心を込めて対応する</p>	<p style="text-align: center;">保護者</p> <p>子供の思いを汲んでやさしい気持ちで接する</p>	<p style="text-align: center;">子ども</p> <ul style="list-style-type: none">・いつでもどこでも誰にもあいさつをする・自分の気持ちを言える・正しい言葉使いを知る
対策	<ul style="list-style-type: none">・園長自らが実践する・会議等で事例を研究し、意識を高める・常に気が付いた時に、言い合う関係を作る	<ul style="list-style-type: none">・普段から子どもに、気持ちが向くように園での様子や成長を伝えていく・保護者の子どもへの接し方で良い時はほめる・子どもの発達の道筋を伝え、見通しをもって子育てしてもらおう	<ul style="list-style-type: none">・大人として見本となる言動をする・保育の中で課題を意識できるような場面をつくる

3グループ

子ども

- ・あいさつのできる子もいるが、できない子もいる
- ・話を最後まで聞くことができない
- ・姿勢の悪い子、言葉づかいの悪い子がいる

保護者

- ・社会的マナー・公共マナーが守れない(言い聞かすことができない)
- ・家庭であいさつ習慣があるか疑問
- ・あいさつしない人、顔を見ないであいさつする人もいる

職員

- ・コミュニケーションが取れていない(自分からコミュニケーションを取らない)
- ・便利になりすぎている現状がある
- ・言葉の使い方に勘違いがある
- ・見だしなみ、化粧をするベース
- ・メンバーに応じて過ごし方が違う。携帯・スマホを見て過ごす人、コミュニケーションを取らない。

対策と目標

みんなが気持ちよく過ごすためにあいさつやマナーを習慣化していく

子どもに対して

基本を知らせる
見本を見せる
実際にやってみる
* 視覚に訴えるアプローチ

保護者に対して

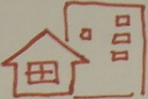
毎日の積み重ね
挨拶とひと言添える
クラスだより、園だよりで啓発する

保護者会のお話にあげる

職員に対して

若い世代に目と手をかける
気付いた時に教え合える職場づくり

日本には日本の文化がある

地域 

保育園

保護者

子供

職員



4グループ

課題(目標)

対策

ことば

人の話を最後まで聞く

・子どもの話をきちんと聴き受けとめる
・「あとで」と言ったときは、子どもがわかるよう具体的に伝える

あいさつ

自分から進んで気持ちよくあいさつする

大人や職員も自ら気持ちの良いあいさつをする

歩き方・姿勢

脱いだ靴を揃える

子どもには靴を揃えることの必要性を知らせる

生活

早寝早起きを身につける

大人の影響が大きいのでくりかえし、大切さを知らせる

社会規範

人と気持ちよく関わるルールを身につける

叱るとか教えるのではなく、生活や遊びの経験を通して身につけていくことの大切さを保護者に伝えていく

大人が良きお手本となる

講評

どのグループも意識レベルが高く、何でも短時間で適格に進められるグループで発表内容も素晴らしく、作品内容の実現化に向けて活かされることを期待します。

また、各発表者のプレゼン等もユーモアに富み、引きこまれる様でした。課題と対策が明確にされ、非常に良かったと思います。

各グループの講評は下記のとおりです。

・第1グループ

具体的な内容でアクションプランとしてグッドでした。

・第2グループ

良く討議された内容で、分かり易くまとめていました

・第3グループ

発表者の表現力に魅され、楽しくユーモアに富んだ発表でした。特に現状把握とあるべき姿を図解化し、ビジュアルに表現されたのは分かり易かった。

・第4グループ

マナーキッズ調べの5編の要素別に課題と対策をまとめ、より具体的に分かり易い発表でした。

以上ですが、発表を各グループ10分という制限の中、時間通りに終わられたことは各グループの質の高さと意識のベクトルが高いゾーンで維持されたグループ編成での発表でした。

発表された内容を今後の課題と対策に活かされることを祈念致します。

各保育園での実行計画

園児全員が、卒園までに「マナーキッズ」調べの表彰対象(70点以上、80点以上、90点以上、或いは20点以上の改善)になるべく取り組む

対策1(全保育園対象)

マナーキッズ体幹遊びの実施

(引用:東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」

授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える

起立、礼、着席

園生活において身体活動量を増やして体幹を鍛える
けんけん相撲など

朝の会などの運動を通して体幹を鍛える

タオルを使った運動他

対策2 各園において園長研修会提言事項の具体的実行